

## 目標達成計画

作成日: 平成 22年 10 月 30日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	マニュアルはあるが、応急手当や初期対応の定期的な訓練は行われておらず、全ての職員が急変や事故発生時に適切な対応ができるか不安がある。	隣接する同法人のデイサービスセンター看護師と連携を図り、全ての職員が急変や事故発生時に適切な対応ができる。	9月9日、隣接する同法人の職員を対象にデイサービスセンター看護師により、日常的に起こりうる急変や事故への対応について研修を受けた。今後も定期的に開催したい。	実施
2	35	夜間を含め、定期的に防災訓練を実施しているが、地域の協力を得ながら実行性ある協力体制が整備されていない。また災害時の対応や避難場所についてご家族に周知されていない。	火災や地震、水害等の発生時に地域住民や家族から協力が得られる体制を整える。	今年初めて納涼祭を地元青年団と合同で開催することができた。この関係を大切に、今後は避難訓練の様子を見学してもらったり、できれば訓練に参加してもらえるよう働きかける。またご家族には、広報誌で避難場所を周知し協力を願う。	12ヶ月
3	10	玄関には苦情、相談箱を設置しているが、現状としてあまり有効に活用されていない。	利用者や家族の意見や要望等が汲み取れる。	現在玄関に苦情、相談箱を設けているが、もう一度設置場所を検討する。	1ヶ月
4	24	日々の関わりの中で知り得た情報はケース記録に記入しているが、職員間の共有や介護計画への反映が十分でない。	日々の関わりで得た情報を職員間で共有し、介護計画に反映させる。	センター方式シートには、職員誰でもが日々の関わりの中で気付いたことを記入する。現在情報の共有には「連絡ノート」を活用しているが、もっと分かりやすい様式を検討する。	1ヶ月
5	26	全ての担当職員の意見が反映される仕組みになっていない。また介護計画を交付する際郵送する場合もあり、内容の説明が十分でない。	全ての担当職員の意見が反映される。また介護計画書は面談し十分に説明のうえ交付する。	介護計画作成時はまず、担当職員同士話し合いを行い、そのうえでカンファレンスを実施する。ご家族には直接面談し、十分に説明を行い交付する。また可能な限りカンファレンスには出席願う。	3ヶ月
6	3	今年度から運営推進会議に地域包括支援センターの職員に出席してもらっているが、まだ十分な連携が図れていない。	地域包括支援センターとの連携を強化する。	今後も運営推進会議には出席を願い情報交換を行なう。包括支援センターは、高齢者の総合的な窓口でもあるので、困ったことがあった時は相談する。	実施